

バザリン

ラミニン合成を促進する小じわ改善成分

【特長】 ラミニン合成を活性化し、ちりめんじわを伸ばす
特に構造的に弱い顔、手、デコルテに

【コンセプト】

しわ:成熟肌の代表的な問題

小じわの発生は、肌老化の初期の兆候であり、たるみや広範囲のしわは加齢とともに、多くは成熟期以降に現れる老化現象です。

広範囲のしわは表皮と真皮の接合部である基底膜の構成要素に関係しています。

「バザリン」は、成熟した肌の口もと、目もと、デコルテ、手、腕の内側といった部分に多く現れる広範囲のしわ改善に的を絞った原料です。

ラミニン

3鎖で構成される膜貫通型タンパク質で、十字型の構造で、真皮を表皮に接合する役割を持ち、他の基底膜の構成要素であるIV型コラーゲン及びVII型コラーゲンと結合して、次の2つの基本的役割を果たします。

- ① 表皮に栄養素を供給するという生理学的な役割
- ② 表皮を真皮に物理的に結合するアンカーの働きをし、皮膚の弾力性に関する物理的役割

この様な働きから、基底膜のラミニン量が減少すれば、表皮と真皮の接合部の乖離を招き、皮膚のたるみ、小じわの形成の原因となります。

ラミニン全体



基底膜(表皮と真皮の結合部)には、
ラミニンをはじめとする
特異的な成分が存在

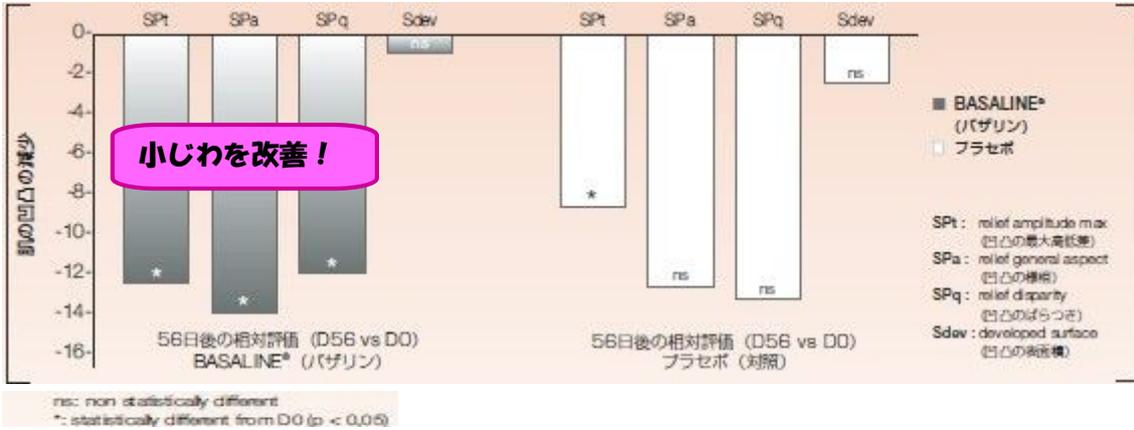
バイオテクノロジーを用いて、ラミニンの合成を再活性化する有効成分

「バザリン:加水分解バクガエキス」を開発しました。

ラミニンが不足している組織、すなわち成熟肌の組織にだけ作用しながら、ラミニンの合成促進にインテリジェントに採用することを証明しました。

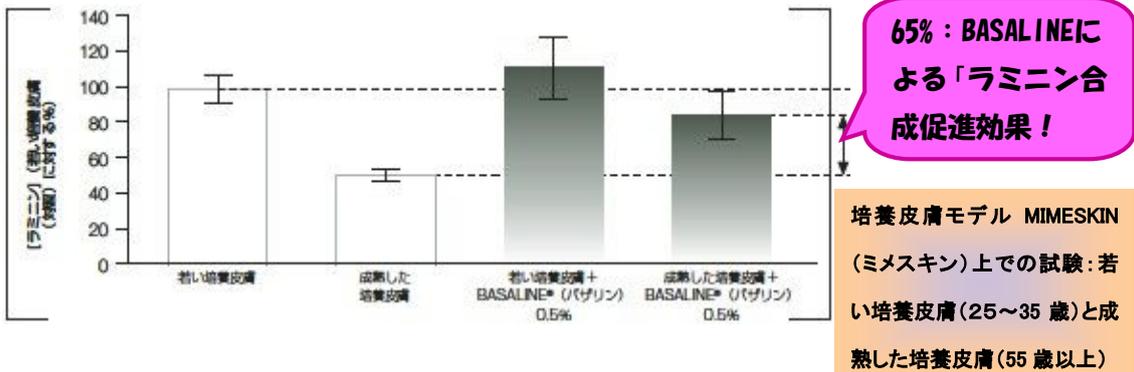
【効能・効果】

小じわを伸ばす

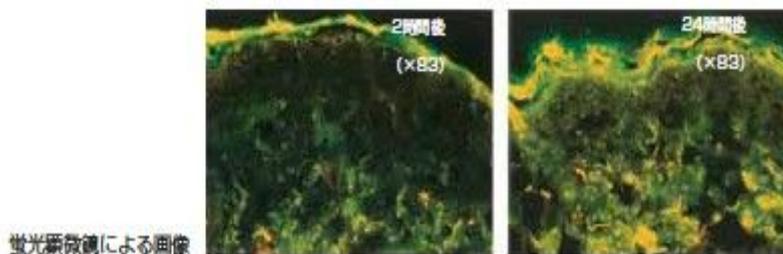


in vivo 試験: 56歳~76歳のボランティア 18人および 20人に対して 1日 2日 8週間連用
顔の半分に2%の「BASALINE」を含むエマルジョンを塗布し、プラセボ(対照)と比較
表面形状測定装置(フリンジプロジェクション)によりカラスの足跡を測定

ラミニンの合成促進効果



経皮吸収性



真皮まで至る
浸透力!

Ex vivo 試験
Franz 型拡散セル上で実施された、皮膚組織への浸透試験

【商品情報】

商品名: バザリン

表示名称: 加水分解バクガエキス、BG、エチルパラベン、メチルパラベン、プロピルパラベン

製造元: BASFジャパン株式会社